
休日の朝～幸せ音の確認

大橋 秀人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

休日の朝〜幸せ音の確認

【Nコード】

N7105N

【作者名】

大橋 秀人

【あらすじ】

詩的文章。実験的掌編。イメージ小説。朝の幸せ。キス

数え切れないキスをした。

朝起きて、まどろみの中。

瞳を閉じて、静かに。

見つめ合って、微笑みながら。

吹き出すのを我慢しながら。

強く。

弱く。

押し付け。

かすめ。

唇で輪郭を撫ぜる。

つま先から、頭のテッペンまで。

くすぐりたい。

笑って。

笑って。

愛おしくなつて。

お互いを貪る。

痛みが目を覚まさせてくれる。

射すような日差し。

グーっとお腹が鳴る。

放っておくと食べられてしまいそう。

のそのそとベッドから辛づる式に這い出る。

シーツが小気味よく擦れる音。

抱き合いながら部屋を出る。

歩きながらキスをする。

床が冷たく心地いい。

ペタペタとフローリングに張り付く裸足。

食パンの袋から出される音。

トーストをセットするカチツと言つ音。

ポットのお湯が注がれる。

コーヒーの濃い匂いが漂い立つ。

食卓の軋む音。

向かい合って座る。

背筋を伸ばしてキスをする。

何もなかったようにする。

でも、キスをするたび、少しだけ体温が上がるのがわかる。

ガチャッとトーストが焼きあがる。

芳ばしい。

バターをたっぷり塗って。

あなたはそこにマーマレードを重ねる。

馬鹿みたいに塗りたくる。

頬張る度に、パリパリと音が鳴る。

何も口を開かない。

代わりにキスをする。

ムシャムシャしながらキスをする。

さわやかで甘ったるい匂いがする。

それをコーヒーで飲み下す。

同じものを食べている気になる。

見つめ合って黙々とトーストを齧り、コーヒーをすする。

お腹が満たされていく。

部屋に涼しい風が吹き込んでくる。

鳥の鳴き声と木の葉が重なる音。

息を吐いて、吸う音。

君と僕が生きている音。

嫌いな音は何一つない。

キスも微かに音がする。

音がしないようにしても、耳を澄ませると聞こえてくる。

この世界には、数え切れないほど、幸せな音が潜んでいる。

君はそれを知っているだろうか。

(後書き)

読んでいただきありがとうございます。

一言でも感想いただくと嬉しいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7105n/>

休日の朝～幸せ音の確認

2010年10月11日17時13分発行